

# みずほ・ブラックロック グローバル農業関連株ファンド

## <愛称：食の未来>

追加型投信／内外／株式

### 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引き立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

さて、ご投資いただいております「みずほ・ブラックロック グローバル農業関連株ファンド」は、当初、信託期間を2021年6月8日までとしておりましたが、投資信託契約を解除し、2018年10月25日をもちまして繰上償還させていただきました。

当ファンドは、主として世界各国の農業関連企業の株式に実質的に投資を行い、投資信託財産の成長を目指しました。当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

ご愛顧誠にありがとうございました。

作成対象期間 2018年6月9日～2018年10月25日

第8期	償還日：2018年10月25日	
償還日 (2018年10月25日)	償還価額	10,697円86銭
	純資産総額	522百万円
第8期	騰落率	0.4%
	分配金合計	-円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

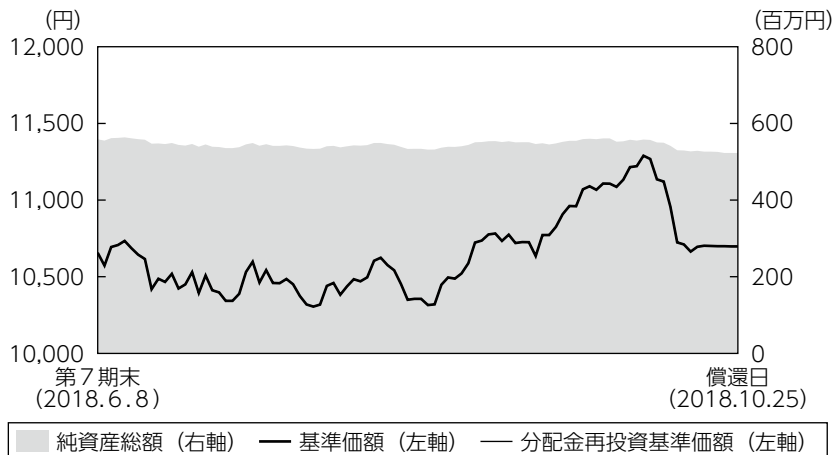
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第 8 期首： 10,656円  
 償 還 日： 10,697円86銭  
 (既払分配金－円)  
 騰 落 率： 0.4%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。
- (注5) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として世界各国の農業関連企業の株式に実質的な投資を行い、投資信託財産の成長を目指すファンドです。農業関連企業とは、主に肥料、農機具、農業科学、アグリビジネス、食用油、食品加工、農業・土地、砂糖、林業などに関連する企業を指します。

農業関連企業の株式は下落したものの、米ドルは円に対して上昇したことから、第8期首に10,656円でスタートした基準価額は10,697.86円に上昇して償還日を迎えました。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2018年6月9日 ～2018年10月25日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	77円	0.722%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,661円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(47)	(0.442)	
(販売会社)	(29)	(0.267)	
(受託会社)	( 1)	(0.012)	
合計	77	0.722	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

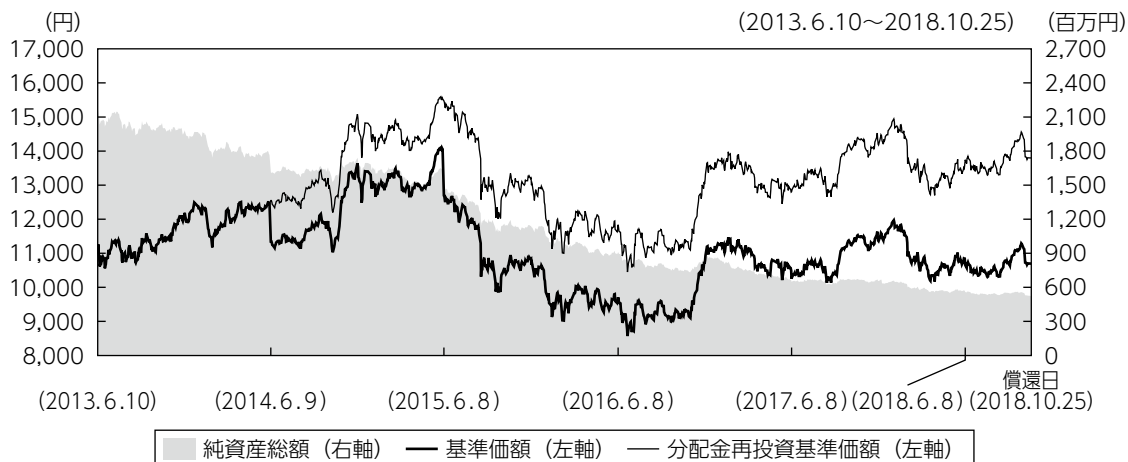
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

(注5) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては組入ファンドの概要に表示することとしております。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2013年6月10日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2013年6月10日 決算日	2014年6月9日 決算日	2015年6月8日 決算日	2016年6月8日 決算日	2017年6月8日 決算日	2018年6月8日 決算日	2018年10月25日 償還日
基準価額 (分配落)	(円) 10,982	11,347	12,695	9,709	10,254	10,656	10,697.86
期間分配金合計 (税引前)	(円) -	1,200	1,300	0	250	350	-
分配金再投資基準価額の騰落率	(%) -	14.3	23.3	△23.5	8.2	7.3	0.4
純資産総額	(百万円) 2,095	1,611	1,482	909	647	558	522

- (注1) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示してあります。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。償還日の分配金再投資基準価額騰落率は償還日の直前の決算日との比較です。
- (注4) 投資信託証券を通じて、主として世界各国の農業関連企業の株式に実質的な投資を行うという当ファンドのコンセプトに適した指数等がございます。よって、ベンチマーク等は特定しておりません。

## 投資環境

### ● 株式市場

農業関連企業の株式は下落しました。米国のトランプ大統領がEU（欧州連合）からの輸入車に対して関税を賦課することを示唆したほか、米国が340億米ドル相当の中国製品に対して追加関税を賦課することを発表したため、米国の通商政策に対する懸念が強まり、農業関連企業の株式は2018年7月中旬にかけて下落しました。中国との貿易摩擦によって農家に経済的被害が出ていることを受け、米国政府が農業支援策を発表すると下落幅を縮めました。米中貿易摩擦の深刻化や米国とトルコの関係悪化などを背景に8月上旬から中旬にかけて一旦反落しました。しかし、米国がメキシコとのNAFTA（北米自由貿易協定）の再交渉を巡る2国間協議の合意に至ったことや、米国が2,000億米ドル相当の中国製品に対する追加関税の発動を発表したものの、関税率が想定よりも低かったことから、米国の通商政策に対する懸念が和らぎ、10月上旬にかけて下落前の水準まで回復しました。しかし、米国長期金利の上昇に対する警戒感から反落すると、その後もイタリアの財政問題や中国の景気減速、米中貿易摩擦が米国の企業業績に与える悪影響などが懸念され、下落幅を拡げる展開となりました。

### ● 商品市場

穀物価格については、作柄改善期待や米中貿易摩擦を受けて2018年7月中旬にかけて下落したものの、欧州の悪天候により小麦の生産や輸出見通しが引き下げると小麦を中心に下落幅を縮めました。8月上旬以降は、米中貿易摩擦の深刻化などが嫌気され、再び反落となりました。

### ● 外国為替市場

米ドルは円に対して上昇しました。良好な米国経済指標が発表され、米国株式市場が堅調に推移する中で、米ドルは7月中旬にかけて上昇しました。しかし、トランプ大統領がFRB（米国連邦準備制度理事会）の利上げや米ドル高に対して不満を示したほか、日銀が金融政策を修正するとの観測が強まると、大きく上昇幅を縮めました。その後も米中の貿易摩擦の深刻化やトルコ・リラの急落などを受け、8月下旬にかけて下落しました。原油価格の上昇やFRBの利上げに対する警戒感の高まりなどを背景に米国長期金利が大きく上昇したため、米ドルは10月上旬にかけて大きく上昇しました。しかし、米国の企業業績を巡る懸念などにより市場心理が悪化したため、10月上旬以降は上昇幅を縮めました。

### ● 国内短期金融市場

マネタリーベース、日銀保有の長期国債残高をそれぞれ増加させる金融緩和政策が続いており、国債を中心に低金利で推移しました。その結果、国庫短期証券3ヵ月物利回りはマイナス水準で推移しました。

## ■ ポートフォリオについて

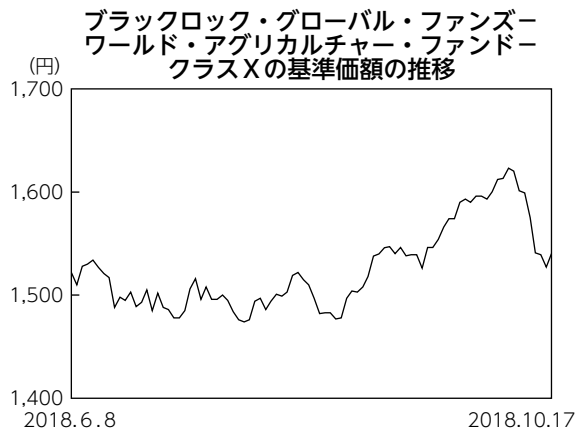
### ● 当ファンド

当ファンドは、ルクセンブルグ籍の外国投資法人「ブラックロック・グローバル・ファンズワールド・アグリカルチャー・ファンドークラスX」（以下、「アグリ・ファンド」といいます。）と国内籍投資信託「日本短期公社債マザーファンド」受益証券に投資し、投資信託財産の成長を目指すファンド・オブ・ファンズです。

アグリ・ファンドへの投資配分は概ね高位を維持しました。当ファンドの繰上償還決定後、アグリ・ファンドと日本短期公社債マザーファンドを売却しました。

### ● アグリ・ファンド

穀物価格の動向に関係なく成長が見込める銘柄の組み入れを増やしました。ノルウェーの水産会社やカナダの健康食品会社を新たに組み入れたほか、アボカドなどの生産を手掛ける米国の食品会社の組み入れを増やしました。また、今後肥料価格は底堅く推移すると考え、一部の肥料会社の組み入れを増やしました。一方で、南アフリカやシンガポールの食品会社を売却しました。



※当作成期間における分配金を加算しています。

### ● 日本短期公社債マザーファンド

日銀によるマイナス金利の導入以降はファンドにとって損失の発生が明らかなマイナス利回りの債券の組み入れは行いませんでした。

## ■ ベンチマークとの差異について

投資信託証券を通じて、主として世界各国の農業関連企業の株式に実質的な投資を行うという当ファンドのコンセプトに適した指標等がございません。よって、ベンチマークなどは特定していないため、グラフは掲載しておりません。

## 償還にあたって

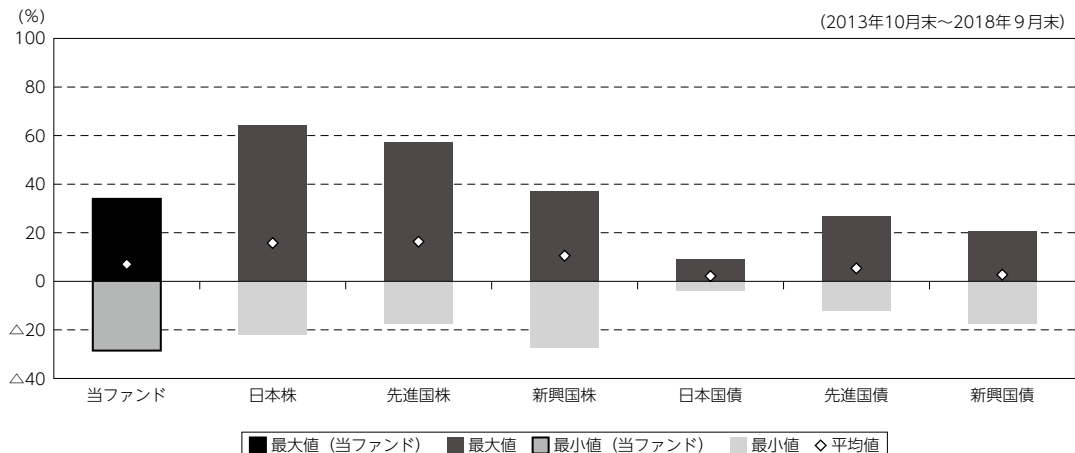
2011年6月9日に当ファンドを設定して以来、長い間当ファンドをご愛顧くださり、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2011年6月9日から2018年10月25日（当初2021年6月8日）まで。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 ブラックロック・グローバル・ファンズーワールド・アグリカルチャー・ファンドークラスXへの投資に係る指図権限を、ブラックロック・ジャパン株式会社に委託します。	
主要投資対象	みずほ・ブラックロック グローバル農業関連株 ファンド	投資信託証券。
	ブラックロック・ グローバル・ ファンズーワールド・ アグリカルチャー・ ファンドークラスX	ボトムアップ・アプローチを中心に、主に世界各国の農業関連企業の株式に投資を行います。
	日本短期公社債 マザーファンド	本邦通貨建ての公社債。
運用方法	以下の投資信託証券を通じて、主として世界各国の農業関連企業の株式に実質的に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 ルクセンブルグ籍外国投資法人 ブラックロック・グローバル・ファンズーワールド・アグリカルチャー・ファンドークラスX（以下「アグリ・ファンド」といいます。）円建投資証券 内国証券投資信託（親投資信託） 日本短期公社債マザーファンド受益証券 各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向等を勘案して決定するものとし、アグリ・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準や市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	33.9	64.2	57.1	37.2	9.3	26.6	20.8
最小値	△28.5	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	7.0	15.7	16.3	10.5	2.1	5.3	2.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2013年10月から2018年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

### \*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

### 各資産クラスの騰落率について

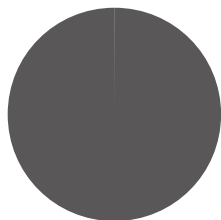
騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに、株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所及び各指数のデータソースは、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、株式会社野村総合研究所及び各指数のデータソースは、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2018年10月25日現在）

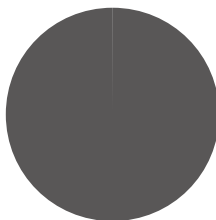
2018年10月25日現在、有価証券等の残高はございません。

#### ◆資産別配分



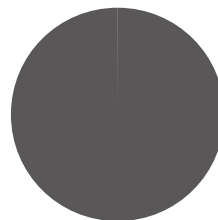
その他  
100.0%

#### ◆国別配分



その他  
100.0%

#### ◆通貨別配分



その他  
100.0%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

### 純資産等

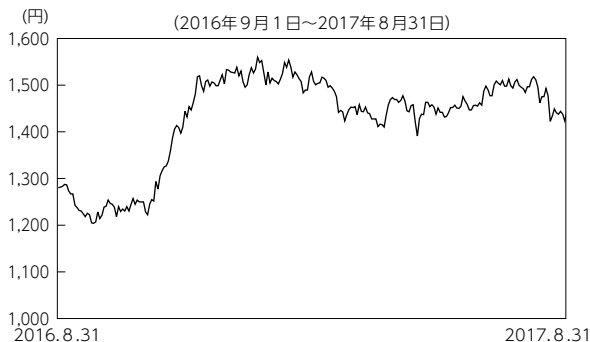
項目	償還時
	2018年10月25日
純資産総額	522,869,995円
受益権総口数	488,761,302口
1万口当たり償還価額	10,697円86銭

(注) 当期中における追加設定元本額は1,168,822円、同解約元本額は36,470,740円です。

## 組入ファンドの概要

### 【ブラックロック・グローバル・ファンズーワールド・アグリカルチャー・ファンドークラスX】

#### ◆基準価額の推移



#### ◆1万口当たりの費用明細

(2016年9月1日～2017年8月31日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

#### ◆組入上位10銘柄

(2017年8月31日現在)

	銘柄名	業種／種別等	国 (地域)	比率
1	Monsanto Co	農業科学	米国	9.8%
2	Deere & Co*	農機具	米国	8.9
3	Tyson Foods Inc 'A'	畜産	米国	8.1
4	Agrium Inc	肥料	カナダ	7.7
5	Wilmar International Ltd	食品加工	シンガポール	5.3
6	Yara International ASA*	肥料	ノルウェー	5.2
7	Potash Corp of Saskatchewan Inc*	肥料	カナダ	5.0
8	Archer-Daniels-Midland Co	流通・保管	米国	4.9
9	CF Industries Holdings Inc*	肥料	米国	4.9
10	Bunge Ltd	流通・保管	バミューダ	4.5
組入銘柄数			33銘柄	

(注1) 比率は、ブラックロック・グローバル・ファンズーワールド・アグリカルチャー・ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 「ブラックロック・グローバル・ファンズーワールド・アグリカルチャー・ファンドークラスX」は、「ブラックロック・グローバル・ファンズーワールド・アグリカルチャー・ファンド」の個別クラスとなっております。

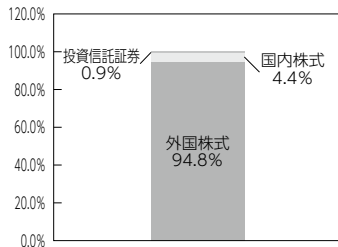
(注3) \*当該有価証券は貸付有価証券です。

(注4) 国 (地域) につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。

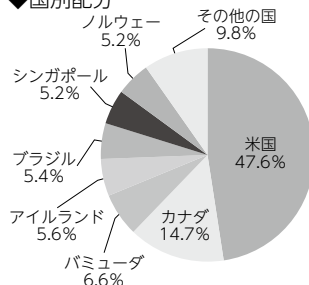
(注5) 上記の表は、ブラックロック・ジャパン株式会社が作成した財務書類およびデータをもとに記載してあります。

(注6) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載してあります。

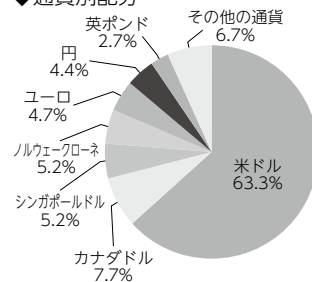
◆資産別配分



◆国別配分



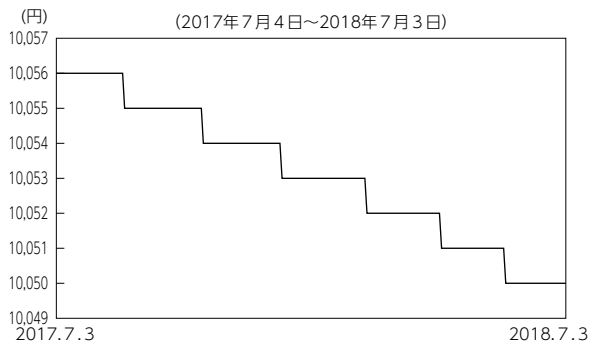
◆通貨別配分



- (注1) 資産別配分は、ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・アグリカルチャー・ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注2) 国別配分、通貨別配分の比率は、「ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・アグリカルチャー・ファンド」のポートフォリオ部分に対する割合です。
- (注3) 「ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・アグリカルチャー・ファンドークラスX」は、「ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・アグリカルチャー・ファンド」の個別クラスとなっております。
- (注4) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。
- (注5) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。
- (注6) 上記のグラフは、ブラックロック・ジャパン株式会社が作成した財務書類およびデータをもとに記載してあります。

## [日本短期公社債マザーファンド]

### ◆基準価額の推移



### ◆1万口当たりの費用明細

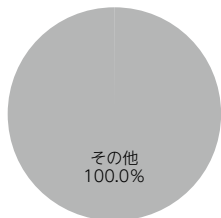
該当事項はございません。

(2017年7月4日～2018年7月3日)

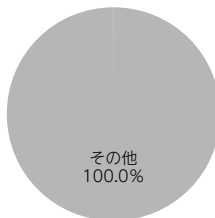
### ◆組入上位10銘柄

2018年7月3日現在、有価証券等の残高はございません。

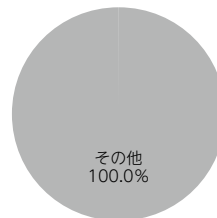
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（株東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

